

一般社団法人日本音響家協会中部支部
第21回2023年度定時支部社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会中部支部は、2023年4月25日(火)18時30分から19時30分まで、名古屋市東区葵一丁目3番27号名古屋市芸術創造センター 小会議室において2023年度第21回定時支部社員総会を開催した。

定刻になり、支部長丹羽功が議長席に着き開会を宣し、次の通り定数を超える社員の出席があり、本総会が適法に成立していることを告げ議事に入った。

場 所: 名古屋市芸術創造センター 小会議室

議決権総数 43、定足数: 22、本日の出席社員総数: 24名(委任 17名)

議長は本総会の「議案書」を提示して「はじめに」を朗読し、第1号議案より逐条的に朗読して提案する旨を告げ、審議を行った。

第1号議案 2022年度 事業報告

(1)プロ音響機器フェア in NAGOYA 2022(業務用音響機器展示会 CONNECT2022)

2022年度の開催は諸般の事情を検討の結果中止したが、2022年4月、コネクト実行委員会が実施する展示会におけるスピーカ試聴(ホール)ブース進行等について依頼があり、本事業の代替として、協力することにした。

事業名:業務用音響機器展示会 CONNECT2022

日 時:4月18日(月)19日(火)

会 場:ウインクあいち

《特記事項》7社参加、音響調整卓操作、舞台上サポート、受付、会場整理(客席消毒)を担当した。

(2)舞台音響技術ワークショップ

事業名:「舞台音響技術ワークショップ胡弓を知る」

事業概要:名古屋市芸術創造センター施設事業「舞台音響技術ワークショップ」

日 時:2023年1月24日

場 所:名古屋市芸術創造センターホール

共 催:名古屋市文化振興事業団 [名古屋市芸術創造センター]

(3)音響セミナー等実行委員会

(3-1)「音響セミナー」(音響セミナー等実行委員長 竹渕知博)

事業名:「Dante 上級技術セミナー」

事業内容:新型コロナウイルス感染症防止のため、オンライン開催を検討したが講師日程調整や講義内容を検討したが難しく、運営委員会にて協議の結果中止とした。

(3-2)「音響サロン」

事業名:「胡弓を知るオンラインセミナー」

事業概要:2023年1月24日実施の舞台音響技術ワークショップを撮影編集しオンライン配信した。

日 時:2023年2月14日(火)

場 所:オンライン配信 ZOOM ミーティング

(4)SET名古屋(音響家技能認定講座「ビギナーズコース」)

事業名:音響家技能認定講座「ビギナーズコース」

事業概要:事業委員会主催、中部支部共催の「3級音響技術者」の資格認定講座

日 時:2022年11月30日(水)10時から

場 所:名古屋市昭和和文化小劇場

参加者:25名

(5)会員の交流と親睦を図る見学会等

事業名:中部支部会員 リモート忘年会

事業概要:オンラインコミュニケーションツール ZOOM を利用した会員相互の交流

日 時:2022年12月13日(火)20:30~21:30

会 場:オンライン「ZOOM ミーティング」

会 費:なし

参加者:6名

(6)出版編集サウンド A&T 特集企画編集等

(6-1)機関誌・各支部順次担当「特集企画」

中部支部担当 Sound A&T #112号 4月発行分を担当。テーマは「今、インターカムの世界は」

(6-2)機関誌 Sound A&T の SEAS PLAZA への送稿

#109 APRIL 先達からの便り 丹羽 功氏

丹羽 功氏耳袋自主投稿「私、文章を書くことが苦手なのです」

#110 JULY MY TOWN MY TONE 松島大樹(歴史のかおる染物の町「有松」)

#111 OCTOBER 犬塚裕道氏 耳袋自主投稿「人間国宝」「運も尽きたか?」

浅野芳夫 耳袋自主投稿「機械の寿命・奇怪な寿命」

長年中部支部編集長を務めていただきました、川島喜信編集長は、3月16日に逝去されました。

常に「中部支部らしい特集企画」をキャッチフレーズに日々企画について検討されていました。ご家族からは、特集企画の編集作業をととても楽しくされていたと伺いました。1月24日のセミナー「胡弓を知る」にもご参加いただきました。心よりお悔やみを申し上げます。

(7)会議等(定時支部社員総会・運営委員会)

2022年度の会議を次の通り開催した。

(7-1)第20回定時支部社員総会の開催

日 時:2022年4月26日(火) 18時30分から19時20分

場 所:名古屋市芸術創造センター 大会議室

(7-2)定例運営委員会及を11回開催した。

1.2022年4月12日(火) 2.2022年5月10日(火) 3.2022年6月14日(火) 4.2022年7月12日(火)

(8月 休会) 5.2022年9月13日(火) 6.2022年10月11日(火) 7.2022年11月8日(火)

8.2022年12月13日(火) 9.2023年1月10日(火) 10.2023年2月14日(火) 11.2023年3月14日(火)

(感染拡大防止対策としてオンライン会議にて全て実施しました)

(7-3)SEAS 中部メールニュース

事務局から支部会員へ、催事案内等の「SEAS 中部メールニュース」を次の通り発行した。

1. Vol-01 2022年11月3日発行 2. Vol-02 2023年2月2日発行 3. Vol-03 2023年3月3日発行

4. Vol-04 2023年3月11日発行

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

引き続き第2号議案以下の審議を継続した。

第2号議案 2022年度 決算報告

会計担当役員が欠席のため議長が代理で本議案書別紙を提示して報告した。

■別紙 付属明細書 2022年度収支計算書(決算)の通り。

第3号議案 2022年度 監査報告

吉田廣嗣監査が2022年度の運営委員の職務執行の状況及び議案書の事業報告並びに決算報告書について監査し、書面で提出した「監査報告書」を朗読して報告した。

■別紙中部支部監査機関による「監査報告書」の通り。

議長は、以上の2議案について提案した後、質疑及び討議を促し、2議案をまとめて承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

引き続き第4号議案以下の審議を継続した。

第4号議案 2023年度 中部支部事業計画

(1)シリーズ事業【1】「機器展」

事業名:業務用音響機器展示会 CONNECT2023【プロ音響機器フェア in NAGOYA 2023】

事業概要:業務用音響機器展示会 CONNECT2023 実行委員会への協力 スピーカ試聴会卓オペレート

受付等場内整理等 中京地区の音響関係者に、各社の最新のプロ音響機器の情報並びに

各社推奨スピーカーの実聴体験と最新の機器を実感できる機会を提供する。

開催予定日時:2023年4月13日(木)14日(金)

開催予定場所:ウインクあいち

(2)シリーズ事業【2】「邦楽セミナー」

事業名:「舞台音響技術ワークショップ」

事業概要:名古屋市芸術創造センター施設事業「舞台音響技術ワークショップ」として共催予定。

日時:未定

場所:名古屋市芸術創造センターホール

共催:名古屋市文化振興事業団 [名古屋市芸術創造センター]

ワークショップと同時にオンライン配信を含めたセミナーの開催を企画する。

テーマ等実施の可否については、今後の運営委員会で検討する。

(3)会員のための「音響セミナー」「音響サロン」の開催

2023年度事業として、事業推進委員会は次の事業を企画実施する。

「音響セミナー」「音響サロン」((音響セミナー等実行委員長 溝口修一)

開催内容及び時期については未定、オンライン配信を軸に3ヶ月1回程度のセミナー企画を提案する。

(4)SET 名古屋の開催

2023年度事業として、本部事業委員会と共催して「音響家技能認定講座ビギナーズコース」を企画実施する。

事業名:「SETビギナーズコース」

開催時期:2023年11月 予定

場所:名古屋市昭和 문화小劇場

事業内容:協会のカリキュラムによる技能認定講座。

本部に依頼し「ビギナーズコース」を開催する。

講師・スタッフについては中部支部で選任する。実行委員長は大矢英和氏とする。

(5)会員相互の交流を促す「見学会」「親睦会」等の開催

2023年度事業として、福利厚生委員会は「懇親会」を企画実施する。

(5-1)「中部支部会員 リモート忘年会」

事業名:「中部支部会員 リモート忘年会」

開催時期:「12月(予定)」

事業内容:「オンラインコミュニケーションツール ZOOM を利用した会員相互の交流」

《特記事項》

社会情勢によっては、オンラインではなく店舗での開催も検討する。

(5-2)見学会

新しいホール等見学会を検討する。

(6)編集委員会

編集委員会の2023年度編集方針は、次の通りとする。

- ・機関紙特集 運営委員会の協議を基に中部支部編集コンセプトに則したテーマを選定する。
- ・SEAS Plaza、耳袋への投稿について
- ・協会参加意識高揚の一つの手段として会員に対し、より積極的な方法で寄稿を呼びかける。
- ・協会のFB欄を意見交換の場として情報の発信を提案する

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。引き続き第5号議案以下の審議を継続した。

第5号議案 2023年度 収支予算

本議案書の別紙収支計算書を提示して報告した。

■別紙 付属明細書 2023年度収支計算書(予算案)の通り

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。引き続き第6号議案以下の審議を継続した。

第6号議案 2023年度 役員補充及び退任

今期は、支部役員(運営委員及び監査)の改選期ではありませんが、欠員に伴い運営委員補充をする。

任期は改選までの1年とする。

川島善信氏(逝去により退任)

内原昭弘氏(業務多忙により退任)

櫻井博司氏(新任)

支部推薦理事:大矢英和氏

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

以上

以上を以ってすべての議事が終了したので、議長は 19 時 30 分に閉会を宣した。以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長たる支部長が記名押印する。

2023年4月25日

一般社団法人日本音響家協会 中部支部支部長 丹羽 功 印

議事録作成者 事務局長 溝口 修一

自 2023年04月01日
至 2024年03月31日

一般社団法人 日本音響家協会
中部支部

2023年度 収支計算書(予算)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
項目/科目	金額	項目/科目	金額
経常収入		一般管理費	
支部運営費給付金	176,000	消耗品費	20,000
前年度繰越金	217,447	通信発送費	10,000
租税公課(預り金)	5,000	旅費交通費	50,000
雑収入	1,000	接待交際費	0
小計	399,447	会議費	12,000
事業収入		借入金返済	100,000
受講料等	60,000	支払手数料	2,000
協賛広告料	100,000	租税公課(納付金)	20,000
雑収入	1,000	備品費(消耗品)	5,000
小計	161,000	雑費	20,000
借入金等		小計	239,000
短期借入金	100,000	事業費	
前年度未収金	0	消耗品費	10,000
小計	100,000	通信発送費	10,000
収入合計	660,447	謝金等	200,000
		会場費	50,000
		旅費交通費	30,000
		接待交際費	10,000
		ケータリング	10,000
		会議費	40,000
		賃借料	20,000
		印刷費等	30,000
		雑費	5,000
		小計	415,000
		支出合計	654,000
		予備費	
		予備費	6,447
合計	660,447	合計	660,447

今年度当初支部会員数

44

自 2022年04月01日
至 2023年03月31日

一般社団法人 日本音響家協会
中部支部

2022年度 収支計算書(決算)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
項目/科目	金額	項目/科目	金額
経常収入		一般管理費	
支部運営費給付金	324,209	消耗品費	0
前年度繰越金	226,485	通信発送費	7,154
租税公課(預り金)	13,298	旅費交通費	0
雑収入	4	接待交際費	0
小計	563,996	会議費	600
事業収入		借入金返済	0
受講料等	9,000	支払手数料	627
協賛広告料	11,000	租税公課(納付金)	13,300
雑収入	100,780	備品費(消耗品)	0
小計	120,780	雑費	15,477
借入金等		小計	37,158
短期借入金	0	事業費	
前年度未収金	0	消耗品費	0
小計	0	通信発送費	810
収入合計	684,776	謝金等	253,298
		会場費	0
		旅費交通費	130,820
		接待交際費	27,000
		ケータリング	2,984
		会議費	5,400
		賃借料	27,000
		印刷費等	8,750
		雑費	1,109
		小計	430,171
		支出合計	467,329
		期末剰余金	
		3月期残高	217,447
合計	684,776	合計	684,776

2023年4月9日

(一社) 日本音響家協会中部支部
支部長 丹羽功 様

(一社) 日本音響家協会中部支部
監査 吉田廣嗣



監査報告

定款施行細則第 59 条により、中部支部の 2022 年度（自 2022 年 4 月 1 日、至 2023 年 3 月 31 日）の事業報告及び決算報告を監査したので下記の通り報告します。

記

1、監査の方法

2022 年度の運営委員会、及び各種事業に参加し、2022 年度の各種事業報告書、各種報告書及び運営委員会議事録などを閲覧して運営委員の業務執行の状況を監査した。また、2023 年 4 月 6 日に名古屋市青少年文化センターに於いて、会計浅野芳夫氏の提示した会計書類などを精査して 2022 年度の会計を監査した。

2、業務監査

2022 年度特筆すべき事項は、昨年に引き続きコロナウィルス対応に追われる 1 年であった。

(1) 事業報告書

運営委員会が、各担当委員より提出された事業報告書を承認しており、各事業別に執行状況と総括の要旨を議案書に記載して適正に事業報告および決算報告がなされている。

(2) 運営委員の業務の執行

支部長を中心に各業務が執行され、順調に遂行されている。

(3) 会議の運営

① 支部社員総会について

支部社員総会の招集手続きは、従来通り「往復はがき」により必要事項を記載し、返信はがきと電磁的方法による出欠の確認と委任状の提出で会員の議決権を保証している。また、会議の議事についても、適正に遂行され、議事録も適切に残し、協会のホームページに開示されている。

② 運営委員会について

各委員各自の主業務の繁忙等により、出席率の低下が気になるところであるが、事務局長が議案書を作成して招集するとともに、電磁的方法による出欠確認と委任手続を行い、無届欠席の防止が図られている。会議後は適切に会議報告がなされている。

③ 実行委員会等

実行委員会は委員多忙な中、運営委員会時に内容について諮られることもあったが、大方は電磁的方法により進められている。

3、事業の実施状況

(1) シリーズ事業

① 「プロ音響機器フェア in NAGOYA」

東海地区でプロ音響機器展示会を実施しているコネクト実行委員会に参加し、スピーカーの試聴会を協力実施した。この催しは当地区唯一の事業であり、東海地区の音響技術者より厚い支持を受けている。

② 「舞台音響技術ワークショップ・胡弓を知る」

2023年1月24日、名古屋市芸術創造センターにおいて開催された。楽器がポピュラーでないこともあったせいか、受講者は30数名と振るわなかった。しかし、それだけにめったに聴くことができない内容で参加者に大変好評であった。また、新たな試みとして、2月14日、時間差にて「胡弓を知る オンラインセミナー」(2時間)が実施された。参加者は15名と、やや少なかったが、その試みは評価できるものであった。

③ 「機関誌特集の企画編集」

機関紙の特集企画編集は5支部が持ち回り担当している。中部支部は、毎回ユニークなテーマで企画してきたが、長年担当していただいた川島委員の他界が悔やまれるところである。

(2) 単発事業

① 「SET ビギナーズコース・名古屋」(SET 実行委員会)

11月30日、本部事業と共催で実施。コロナ禍の中ではあったが25名の受講者があった。講師陣は中部支部選出講師のみであったが、円滑に実施出来ていた。次年度も継続されていくことが望まれる。

② 「会員の交流と親睦を図る会」

WEB忘年会を12月13日にオンラインコミュニケーションツールにより開催された。コロナ禍の中での有り方として評価できるものであったが、参加者6名と少なかったのが残念である。久々の会員交流のできた事業であった。

4、会計監査

毎月の会計報告、会計帳簿、入出金伝票類、預金通帳及び手持ち現金を精査したところ、全適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

以上